

市販の解熱鎮痛薬[76製品]

企画:京都市立医科大学救急医療学教室 山畑 佳篤[医師] / 制作:(株)プラメドプラス 平 憲二[医師] / 発行2021年7月20日[更新2021年8月7日]

【対象】クスリ早見帖ブック 市販薬730(平 憲二著/南山堂)掲載の解熱鎮痛薬のうち小児用を除く製品をもとに作表/単剤製品は随時追加
【区分】カフェインと催眠鎮静薬の配合状況で分類 / [解熱鎮痛薬+催眠鎮静薬]の製品は確認できず

A. 解熱鎮痛薬

解熱鎮痛成分1/単剤

医療用医薬品

市販薬の製品名(並び順:[有効成分カウント]順→製品名50音順)

アセトアミノフェン	カロナール/ピリナジン等	アセトアミノフェンK錠[1] / アセトアミノフェン錠HP[1] / セシオン解熱鎮痛薬AP[1] / タイレノールA[1] / ノーシンAc[1] / バファリンルナJ[1] / ポパドンA[1] / ラックル[1] / レスラックA[1]
イブプロフェン	ブルフェン等	イブ[1] / イブ<糖衣錠>[1] / イブメルト[1] / インテタームIB[1] / ノーエチ錠IP[1] / ノーシンエフ200[1] / リングルアイビー-1[1] / リングルアイビー-α 200[1] / リングルアイビー錠α 200[1]
ロキソプロフェン	ロキソニン等	ナロンLoxy[1] / ハリー解熱鎮痛薬L[1] / ロキソニンS[1] / ロキソプロフェン液[1] / ロキソプロフェン錠「JG」[1] / ロキソプロフェン錠「クニヒロ」[1]
アルミノプロフェン	ミナルフェン(2008年終了)	ルミフェン[1]
アスピリン	アスピリン/バイアスピリン等	バイエルアスピリン[1]

解熱鎮痛成分1/合剤

イブプロフェン合剤	エルペインコーワ[2] / のどぬ〜る鎮痛カプセルa[3]
ロキソプロフェン合剤	コルゲンコーワ鎮痛解熱LXα[2] / バファリンEX[2] / ロキソニンSプラス[2]
アスピリン合剤	バファリンA[2] / バファリンライト[2]

解熱鎮痛成分2/合剤

アセトアミノフェン+イブプロフェン合剤	グレラン・ビット[2] / ノーシンアイ頭痛薬[2]
---------------------	----------------------------

B. A+カフェイン

解熱鎮痛成分1/合剤

市販薬の製品名(並び順:[有効成分カウント]順→製品名50音順)

アスピリン合剤	ケロリン[3] / ケロリンA錠[4] / 後藤散[4] / 後藤散いたみどめ顆粒G[4]
---------	---

解熱鎮痛成分2/合剤

アセトアミノフェン+イブプロフェン合剤	ルナールi[3] / バファリンルナi[4]
アセトアミノフェン+アスピリン合剤	エキセドリンA錠[3]
アセトアミノフェン+エテンザミド合剤	ノーシン[3] / ノーシン「細粒」[3] / ノーシン錠[3] / ノーシンホワイト<細粒>[3] / ノーシンホワイト錠[3] / ハイタミン錠[3] / セデス・ファースト[4] / ハッキリエースa[5]
イブプロフェン+イソプロピルアンチピリン合剤	サリドンWi[3]
エテンザミド+イソプロピルアンチピリン合剤	サリドンA[3]

C. B+催眠鎮静薬

解熱鎮痛成分1/合剤

市販薬の製品名(並び順:[有効成分カウント]順→製品名50音順)

イブプロフェン合剤	アダムA錠[3] / イブA錠[3] / イブA錠EX[3] / ケロリンIBカプレット[3] / セデスキュア[3] / ノーシンピュア[3] / ノーシンピュア(ピルケース入り)[3] / プレミナスIP[3] / イブクイック頭痛薬[4] / イブクイック頭痛薬DX[4]
ロキソプロフェン合剤	ロキソニンSプレミアム[4]

解熱鎮痛成分2/合剤

アセトアミノフェン+イブプロフェン合剤	バファリンプレミアム[5]
アセトアミノフェン+アスピリン合剤	エキセドリンプラスS[5]
アセトアミノフェン+イソプロピルアンチピリン合剤	セデス・ハイ[4] / セデス・ハイG[4]
アセトアミノフェン+エテンザミド合剤	サリドンエース[4] / 新セデス錠[4] / 大正トンプク[4] / ナロン顆粒[4] / ナロン錠[4] / グレランエース錠[5] / セデスV[5]
イブプロフェン+エテンザミド合剤	ナロンエースT[4] / ナロンエースR[5]

* 備考欄

アスピリン	NSAID(サリチル酸系)、アセチルサリチル酸=アスピリン
アセトアミノフェン	アセトアミノフェン/ 市販薬では1回量300mgの製品が多い
アルミノプロフェン	NSAID(プロピオン酸系) / 医療現場では使われていない
イソプロピルアンチピリン	ピリン系 / 医療現場では単剤としては使われていない
イブプロフェン	NSAID(プロピオン酸系)
エテンザミド	NSAID(サリチル酸系) / 医療現場ではほぼ使われていない
ロキソプロフェン	NSAID(プロピオン酸系) / 海外ではあまり使われていない
カフェイン	無水カフェイン、カフェイン水和物
催眠鎮静薬	プロモバレリル尿素、アリルイソプロピルアセチル尿素 * いずれも1900年台前半に登場した古いタイプの催眠鎮静薬(モノウレイド系) * 海外では既に人には使われていない